

## 20市町における現状と展望

### 1 鳥栖市

#### (1) 現状

##### ①電子黒板の整備状況

- ・小学校は、平成21年度にパナソニック財団から各校1台の貸与を受け、平成23年度も貸与継続として使用している。小学校では、外国語活動、算数、理科での使用頻度が高い。
- ・中学校は、平成21年度に市の備品として各校1台を購入し使用している。理科、英語科での使用頻度が高い。
- ・電子黒板の使用は年々増加しているため、使用頻度の高い学校については、簡易の電子黒板(黒板掲示型)とプロジェクタを学校備品として購入して使用している。

##### ②独自システムの整備・活用状況

- ・各小中学校に設置していたサーバー機器を集約して一元管理し、1つのシステムとして「鳥栖市小中学校統合ネットワーク」を構築し、鳥栖市内部情報系システムとの連携も図っていく予定である。今年度は中学校の集約を行い、来年度は小学校を行う予定である。

##### ③ICT支援員の配置状況

- ・今年度は、緊急雇用対策事業により、市全体で3名を情報教育指導員として配置している。

##### ④独自取組

- ・中学校パソコン教室のパソコンについては、今年8月に市内4中学校すべての機種を更新した。

##### ⑤その他

- ・市の財政方針として新規事業に対しては、より一層厳しく査定する方向であり、予算の確保が大変難しい状況である。

#### (2) 将来展望

##### ①電子黒板の整備計画

- ・様々なタイプの電子黒板があるため、その中から、どのタイプで整備していくのかを検討する必要がある。それまでは、学校ごとに使用頻度や必要性を考慮しながら、学校備品として購入することで対応したい。

##### ②独自システムの整備・活用計画

- ・校務支援システム等の導入については、県が構築されたものをどのように導入し、利活用できるか検討していきたい。

##### ③独自取組

- ・小学校は、来年8月の機種更新に向けて、機種選定委員会を立ち上げ、推進を始めたところである。
- ・各学校の職員研修にICT利活用の実践を位置付けるようにする。

## 2 神崎市

### (1) 現状

#### ①電子黒板の整備状況

- ・各学校に3台ずつ整備している(※仁比山小4台)。

#### ②独自システムの整備・活用状況

- ・業務委託により、市独自システムを構築済みである。
- ・学校サーバーの一括管理
- ・出席簿、通知表、指導要録の電子化
- ・グループウェア、メール、ウイルス対策
- ・校内無線LAN
- ・教育委員会専用回線の設置
- ・専用セキュリティー

#### ③ICT支援員の配置状況

- ・各学校に1名配置している。

#### ④独自取組

- ・市独自で研修会を実施(仁比山小で実施)
- ・ICT機器を活用した研究会の実施(指導主事による提案授業)
- ・ICT支援員を活用した教職員個人研修の実施

### (2) 将来展望

#### ①電子黒板の整備計画

- ・平成24年度に各学年1台の配備予定

#### ②独自システムの整備・活用計画

- ・平成23年度の実施計画を見て、改善点などのカスタマイズの実施
- ・システム全体の検証と改善カスタマイズの実施

#### ③独自取組

- ・話し合いツールとして、パソコン教室のデスクトップPCのカスタマイズの実施

### 3 佐賀市

#### (1) 現状

##### ①佐賀市立西与賀小学校

・総務省「フューチャースクール推進事業」平成22年度～平成24年度

目的：ICTを利活用した協働教育の推進に関する調査研究

内容：協働教育プラットフォーム(教育クラウド)を核としたICT環境の構築により、デジタル教材、校内無線LAN、ポータルサイト、ICTサポート等を一元的に提供するとともに、タブレットPCや電子黒板等のICT機器を用いた授業を実践し、「協働教育」の実現に必要な技術的条件やその効果等を検証する。

・文部科学省「学びのイノベーション事業」平成23年度～平成25年度

目的：情報通信技術活用実証研究

内容：発達段階、教科等に応じ、モデルコンテンツの開発や、デジタル教科書、教材、情報端末等を利用した指導方法の開発等の効果影響を検証するとともに、教員へのサポート体制のあり方を検討するなど総合的な実証研修を行う(国語、算数、理科、社会、外国語活動)。

・機器整備状況

電子黒板・・・15台、タブレットPC・・・282台

・今年度の取り組み

研究主題：「確かな学力」の定着をめざした協働教育の研究

～ICTを利活用した算数科学習を通して～

・第1回公開授業(平成23年10月4日(火))

算数「比べ方を考えよう ～平均～」大石文枝教諭 島健一教諭

・第2回公開授業(平成24年1月25日(水))

1年 算数「百までの数」 自作デジタル教材を用いての授業

4年 算数「分数」 学習作用デジタル教科書を用いての検証授業

6年 総合「西与賀小の伝統を伝えよう」

##### ②佐賀市立赤松小学校、佐賀市立若楠小学校

・総務省「ICT絆プロジェクト」

目的：教育用ICT機器及びデジタルコンテンツを整備するとともに、ICT支援員を配置することで先進的なICT教育の実現を目指すための実証研究を行う。

内容：赤松小学校及び若楠小学校の4年生以上の各学級に電子黒板を整備するとともに、4年生以上の児童一人に1台タブレットPCを配付し、電子黒板あるいはタブレットPC同士を連携した協働教育を行い、その有効性を検証する。

・機器整備状況

赤松小 電子黒板・・・9台、タブレットPC・・・299台

若楠小 電子黒板・・・8台、タブレットPC・・・269台

・今年度の取り組み

赤松小 公開授業

- ・第1回 平成23年11月2日(水)4年  
算数「計算のやくそくを調べよう」  
横地千恵子 教諭
- ・第2回 平成23年11月10日(木)5年  
体育「マット運動」 西 直紀 教諭

若楠小 公開授業

- ・第1回 平成23年12月2日(金)6年  
図工「風景を切り取ろう」 内田 明 教諭

③佐賀市全体の機器整備状況

- ・教師用PC・・・1528台(平成23年12月までにすべての学校で稼働)
- ・児童生徒用PC・・・1880台(小学校1233台、中学校647台)
- ・電子黒板・・・基本的にすべての小学校で1台は整備済み(H21.3現在)  
鍋島小学校はすべての普通教室に電子黒板整備済み(29台)  
中学校は10校整備済み(成章、城南、城西、芙蓉、金泉、諸富、大和、松梅、北山、川副)

## 4 小城市

### (1) 現状

#### ①電子黒板の整備状況

- ・市内小中学校12校中8校整備（小学校4校・中学校4校）  
小学校1校2台〈50インチ液晶型・ユニット型〉、他7校各1台〈50インチ液晶型〉

#### ②独自システムの整備・活用状況

- ・行政ネットワーク（校長・教頭・事務長）整備

#### ③ICT支援員の配置状況

- ・（緊急雇用）平成22年度3人、平成23年度6人を業務委託で小中学校に配置

#### ④独自取組

- ・「小城市教育情報化推進協議会」を立ち上げ、現在2回実施している。

### (2) 将来展望(平成24年度～平成25年度計画)

#### ①電子黒板の整備状況

- ・2年間（H24～25）で電子黒板を全教室に配置予定。

#### ②独自システムの整備・活用状況

- ・H25に校務システムとグループウェアの導入予定

#### ③ICT支援員の配置状況

- ・2年間（H24～25）市費で支援員4人、コーディネーター1人を業務委託で配置予定

#### ④独自取組

- ・学校内LAN再整備（普通教室を授業の情報化）
- ・児童生徒のパソコン（学習者用端末）350台配置予定。

## 5 多久市

### (1) 現状

#### ①電子黒板の整備状況

- ・市内全学校の全学級に1台(固定式)ずつ配置、また、移動式を学校に1台ずつ配置

#### ②独自システムの整備・活用状況

- ・市で、委託業者の校務支援システムを一括導入(教育委員会各課と市内全学校を接続)
- ・委託業者のソフトをポイント制で毎年配布(小学校30ポイント、中学校40ポイントの更新制)

#### ③ICT支援員の配置状況

- ・各学校に1名ずつ配置
- ・県費による支援員を中学校に1名配置

#### ④独自の取組

- ・毎年、「電子黒板活用授業研究会」を中学校区ごとに開催(全小中学校で授業研究会)。市内全学校から1名以上の参加。
- ・電子黒板活用授業を多久市教育の日や授業参観日に設定し、保護者・地域住民・議員等にも広く公表。
- ・「電子黒板活用授業づくり」について、多久市教育講演会の中で実践発表を設定。

### (2) 将来展望

#### ①電子黒板の整備計画

- ・既に、市内全学校の全学級に配置しているので、平成25年度での小中一貫校3校への移動計画、特別教室への配置計画を策定中。

#### ②独自システムの整備・活用計画

- ・現状の「校務支援ネットワーク」と「各種指導ソフト」の継続・更新。

#### ③ICT支援員の配置計画

- ・各中学校に1名配置予定(計3名)

#### ④独自取組

- ・現在取り組んでいる事業の継続・発展。

#### ⑤その他

- ・平成25年度開校予定の市内三校の小中一貫校のスタートに向けた、総合的なICT推進計画・配置計画を展開中。

## 6 唐津市

### (1) 現状について

#### ①電子黒板の整備状況

- ・各学校に1台配置

#### ②独自システムの整備・活用状況

- ・平成21年度に、市で「Sky株式会社」の「SKY SCHOOL AGENT」を一括導入。平成22年度春から本格始動、活用している。
- ・各学校との文書のやり取りは、ほぼ全てSKY SCHOOL AGENTの「文書管理」で行っている。その他、学校間情報共有のための「キャビネット」や、簡易メールシステムである「管内学校メール」の利用がメイン。

#### ③ICT支援員の配置状況

- ・唐津市ICT支援員5名(鏡山小・外町小・佐志小・大良小中・呼子中)  
(上記拠点校を中心に各学校への支援)

- ・佐賀県先進的ICT利活用教育支援員2名(成和小・湊小)

#### ④独自取組

- ・モデル校を設定し、現有備品(e黒板等)を活用しながらICT利活用教育について、公開授業等を実施し、有効性について検証。
- ・ICT支援員のスキルアップと支援員同士の情報交換を図る目的で、支援員研修会を年2回実施。

### (2) 将来展望

#### ①電子黒板の整備計画

- ・年次導入に向けて検討中

#### ②独自システムの整備・活用計画

- ・現状維持。ただし、予算措置を伴わない細かな機能改善(メールの検索機能など)については、委託業者に引き続き要求していく。
- ・県が公開するシステムについては導入の方向で検討。

#### ③ICT支援員の配置計画

- ・検討中

#### ④独自取組

- ・モデル校を設定し、現有備品を活用しながらICT利活用教育についての実践研究を行い、公開授業等で発信する。

## 7 伊万里市

### (1) 現状

#### ①電子黒板の整備状況

- ・24校中9校に各1台配備 →15校15台配備

#### ②独自システムの整備・活用状況

- ・特になし。県システム導入時に導入を検討

#### ③ICT支援員の配置状況

- ・小・中学校を4ブロックに分けブロックに1名配置(緊急雇用)

#### ④独自取組

- ・各学校の情報教育担当で組織する「伊万里市CAI研究委員会」に委託し実施

### (2) 将来展望

#### ①独自取組

- ・各学校の情報教育担当で組織する「伊万里市CAI研究委員会」に継続して委託し実施する予定。
- ・来年度より、市教委主催のICT利活用教育についての研修会の実施する予定
- ・来年度より、各学校において校内研修の一環としてICT利活用研修を実施する予定
- ・来年度、学校訪問時、各学校1名以上の電子黒板等を活用した授業を公開する予定。

※朱書きの部分が変更、追加した箇所です。



## 8 武雄市

### (1) 現状

#### ①電子黒板の整備状況

- ・スマートボード 68 台、簡易型 9 台

#### ②独自システムの整備・活用状況

- ・武雄市で校務支援システム一括導入  
(メール機能、回覧板、掲示板、文書フォルダ等)

#### ③ICT支援員の配置状況

- ・市雇用 10 人、県派遣 2 人

#### ④独自取組

- ・市独自の職員研修会の実施(小中学校教職員、ICT支援員を対象に 8 回実施) (7 回目 2/21 8 回目 2/24 予定) 参加延べ人数：190 人  
※ 2/21、2/24 の参加者は含まず
- ・公開授業 ICT、iPad 関係(8/24 武内小：参加者 292 名、12/6 山内東小：参加者 68 名)
- ・中学校でプリント配信システム利用(3 校：武雄中学校、川登中学校、山内中学校)

#### ⑤その他

- ・県「魅力ある学校づくり推進事業」によるプリント配信システム利用(2 校：武雄北中、北方中)

### (2) 将来展望

#### ①独自システム整備・活用計画

- ・平成 23 年度の継続

#### ②独自取組

- ・電子黒板・デジタル教科書・タブレット PC(iPad)の効果的利活用を進める。

## 9 鹿島市

### (1) 現状

#### ①電子黒板の整備状況

- ・各学校に2～4台(分校は各1台)の計23台  
(※学校予算で購入したものを含めると計27台)

#### ②独自システムの整備・活用状況

- ・特になし

#### ③ICT支援員の配置状況

- ・緊急雇用で市に1名配置し、各校を定期的(週1回以上)に訪問し、支援している。

#### ④独自取組

- ・市全体でのICT化を市町部局と一緒に検討している。
- ・市の学校教育方針において、学力向上推進の柱の一つとして、ICTの利活用を推進している。
- ・平成23年度は、学力向上推進委員会においてICT利活用教育をテーマの一つに位置づけ、主として実務研修を実施している。冬季休業中に致遠館中学校での研修会を実施した。
- ・学校訪問時や市教育研究大会等では、ICTを利活用した授業を公開することを義務づけている。

#### ⑤その他

- ・ICT機器を使っていく上で、遮光カーテンなどの教室に必要なものについての環境整備等が学校現場から要望として出されている。

### (2) 将来展望

#### ①電子黒板の整備計画

- ・各フロアに1台を原則に、70台の整備を予定している。

#### ②独自システムの整備・活用計画

- ・先進地事例や情報を収集しながら検討中である。

#### ③独自取組

- ・学力向上を目標として鹿島市ICT利活用教育推進事業を立ち上げ、教師のスキルアップを目指した研修等の取組を推進する。

#### ④その他

- ・ICT利活用に係る付帯設備も合わせた整備を課題としている。

## 10 嬉野市

### (1) 現状

#### ①電子黒板の設置状況

- ・一体型の電子黒板を中学校4校に各1台ずつ配置している。小学校には、12校中10校で1～2台設置している。児童生徒用のタブレットパソコンやiPad等は設置していない。

#### ②独自システムの整備・活用状況

- ・特になし

#### ③ICT支援員の配置状況

- ・情報教育指導員3名を配置している。各学校輪番で週に1日程度指導・支援に当たっている。

#### ④独自取組

- ・特になし

#### ⑤その他

- ・電子黒板は、主に総合的な学習の時間、社会、理科、数学、集会活動等で活用しているところが多い。電子黒板などを活用した公開授業やICTに関する校内研修も各学校で行われているが、職員の技量の差が大きいことやコンテンツの開発や資料の準備等の課題があり、活用状況は教職員によって偏りがある。
- ・授業以外でのICT利活用ということでは、児童生徒の出席簿、通知表、公務日誌と出張関係の帳簿等のデジタル化を進め、事務の効率化を目指している。

### (2) 将来展望

#### ①電子黒板の整備計画

- ・電子黒板等の機器についても増やしてもらいたいという学校の要望がある。小学校への一体型の電子黒板の配置と中学校への増設を進めたい。

#### ②独自システムの整備・活用計画

- ・特になし

#### ③独自取組

- ・特になし

## 1 1 基山町

### (1) 現状

- ①電子黒板の設置状況
  - ・計4台を整備(基山小学校1台、若基小学校2台、基山中学校1台)
- ②独自システムの整備・活用状況
  - ・市販の校務支援システムを活用
- ③ICT支援員の配置状況
  - ・パソコン指導員(臨時職員)を基山中学校に配置
- ④独自取組
  - ・特段の独自の取り組みは行っていないが、ICT利活用教育について町議会の理解を深めるために議員の視察研修を実施した。

### (2) 将来展望

- ①電子黒板の設置計画
  - ・来年度4台(各校に1～2台) 配備検討
- ②独自システムの整備・活用計画
  - ・独自の校務支援システム導入を検討
- ③ICT支援員の配置計画
  - ・基山中学校に1名継続配置を検討
- ④独自取組
  - ・教職員のスキルアップ研修会等を検討
- ⑤その他
  - ・デジタル教科書の順次導入を検討

## 12 みやき町

### (1) 現状

#### ①電子黒板の整備状況

- ・各学校に1台設置(4小学校・3中学校の町内計7台設置)
- ・各学校で多目的教室に配置され、必要に応じて有効利用されている。

#### ②独自システムの整備・活用状況

- ・校務支援システムは現在整備していない。

#### ③ICT支援員の配置状況

- ・配置なし。

#### ④独自取組

- ・デジタル教科書のデモ(活)研修会が、各学校で始まっているが、教育委員会主催としては行っていない。

### (2) 将来展望

#### ①電子黒板の整備計画

- ・来年度全校に1台増設(各校に2台設置になる)
- ・平成25年度までに全学校で各フロアに1台設置予定(中原小4、北茂安小4、三根東小4、三根西小4、中原中3、北茂安中3、三根中3)計25台

#### ②独自システムの整備・活用計画

- ・委託業者の校務支援システム導入を検討中。

#### ③ICT支援員の配置計画

- ・現在、各中学校に配置されている町雇い教員補助各2名(計6名)のうち、各学校1名をICT支援員(技術指導員)として検討中。整備(電子黒板)が整ってからの配置がいいのか?それとも、整備移行期間の段階で支援員を配置したほうがいいのか?

#### ④独自取組

- ・3/27に町教委主催で教科書出版社によるデジタル教科書実演会の研修会を開き、小中学校がどの教科に必要なのかを検討してもらう。今後も継続的に研修会を行っていく。
- ・デジタル教科書の予算案は、各小学校に100万、各中学校に50万を予算計上。

#### ⑤その他

- ・デジタル教科書導入については、各学校判断で教科・学年等の必要優先順位をつけ購入を行う。
- ・教職員には、完全に電子黒板が整備されるまでは、デジタルテレビを代替活用し、子どもたちの学習支援に尽力してもらいたい。ICT教育を積極的に図っていきたい。

## 13 上峰町

### (1) 現状

#### ①電子黒板の整備状況

- ・小学校：1台(パソコン教室に設置、中・高学年の授業毎に対応)
- ・中学校：1台(パソコン教室に設置)

#### ②独自システムの整備・活用状況

- ・小学校：検討中
- ・中学校： 〃

#### ③独自取組

- ・毎月の校長会で、教職員のスキルアップをどうするかを協議中。(機器設備の時期可能性等が、委員会としても指示出来ず進捗ない状況)

### (2) 将来展開

#### ①ICT支援員の配置計画

- ・教職員のトレーニングも他町に遅れを取らぬよう、是非お願いしたい。

#### ②独自取組

- ・現状では進捗出来ずにいるのが現況。県主催の研修等には是非担当者を実際に参加させる予定。

#### ③その他

- ・全面的な県の支援をお願いしたい。

## 14 吉野ヶ里町 (小学校2校、中学校2校)

### (1) 現状

#### ①電子黒板の整備状況

##### 【小学校】

- ・9台設置校1校、各学年1台及び特別教室に3台(内1台簡易型は平成21年度整備)。
- ・10台設置校1校、各学年1台及び特別教室4台(内2台簡易型は平成21年度設置)

##### 【中学校】

各中学校に、計7台ずつ、各学年1台及び特別教室に4台。

#### ②独自システムの整備・活用状況

- ・町内共通理解のもと、各学校で校務の一部電子化を行っている。  
(校務日誌、出席簿、通知表)

#### ③ICT支援員の配置状況

- ・各学校に1名配置(内1名は県派遣)

#### ④独自取組

- ・教職員のスキルアップ：町内全教職員研修会1回、4校合同研修会2回、4校合同先進校視察2回(あと1回予定)
- ・ICT支援員連絡会1回(不定期に開催)
- ・デジタル教科書活用研修会1回(予定)

#### ⑤その他

- ・各小学校に、指導用の電子教科書や教材ソフトを整備。

### (2) 将来展望

#### ①電子黒板の整備計画

- ・来年度以降は、活用状況を見ながら機器の不足が生じないように、順次整備を進めていく。

#### ②独自システムの整備・活用計画

- ・町単独での整備は不可能なので、現在県で開発中の校務支援システムを活用させて欲しい。

#### ③ICT支援員の配置計画

- ・各校1名の配置は不可欠であり、必要と考えるが、財政的な面から厳しい状況である。

#### ④独自取組

- ・町教委指定「ICT利活用教育推進研究校」を設定する。
- ・4校合同での教職員スキルアップ研修を計画的に開催する。
- ・ICT支援員連絡会を継続する。

#### ⑤その他

- ・3校のパソコン教室の機器が更新期を迎えており、タブレット型の導入を基本に検討しているが、財政的に厳しい状況である

## 15 玄海町

### (1) 現状

- ①電子黒板の整備状況
  - ・全学校に整備済み
  - ・有徳小学校34台(各階に1台)、値賀小学校24台(高学年に1台ずつ)
  - ・有浦中学校7台(各教室に1台)、値賀中学校64台(各教室に1台)
- ②独自システムの整備・活用状況
  - ・全学校に校務支援ソフト「ウィンバード」導入
  - ・平成23年度は、2小学校に電子教科書を導入(国数理社)
  - ・平成24年度は、2中学校に電子教科書を導入予定(国数理社英)
- ③ICT支援員の配置状況
  - ・平成23年度に全小中学校に配置済み
- ④独自取組
  - ・ICT支援員研修を実施。その成果として教職員のスキルは確実にアップしている。
- ⑤その他
  - ・電子黒板のさらなる有効活用の方法について研究の余地あり。
  - ・電子黒板、デジタルTV、板書黒板の活用の在り方についての研究余地あり。

### (2) 将来展望

- ①電子黒板の整備計画
  - ・新規導入予定なし2台
- ②独自システムの整備・活用計画
  - ・中学校は、全科目においてデジタル教科書の導入予定(国数理社英音家美体)
- ③ICT支援員の配置計画
  - ・中学校のみ配置予定
- ④独自取組
  - ・ICTのスキルアップに関する研修会(支援員対象)を実施したい



## 16 有田町

### (1) 現状

#### ①平成 21 年度、平成 22 年度の取り組み

- ・デジタルテレビについては、小学校は各学級に 1 台と他に 2 台の計 62 台を設置。中学校は各学年に 2 台と特別教室に 1 台の計 23 台を設置している。(合計 85 台)

- ・パソコンについては、小学校は 197 台を設置、PC 教室 31 台～41 台と

各教室に 1 台～2 台設置。中学校は全体で 110 台を設置、PC 教室 82 台と教室に 1 台～2 台設置している。

- ・校務用として、各教職員に 1 台の設置(計 134 台)

- ・校内 LAN については、小学校は 53 教室、中学校は 24 教室に設置している。(合計 77 教室)

#### ②平成 23 年度の取り組み

- ・デジタル教科書については、各小学校に国語・社会・算数・理科を配

備している。

- ・タブレットコントローラーを各学校に 1 台設置。放送教育推進校には各学年に 1 台設置している。(合計 13 台)

### (2) 将来の展望

#### ①ICT 支援員の配置計画

- ・平成 24 年度に町費で緊急雇用で 1 名配置予定

#### ②ICT 機器の整備計画

- ・ここ 2～3 年の内に校舎の耐震工事や校舎改築の計画もあり、大々的な整備については考えていない。しかし、各学校に 1 台ずつ配備しているタブレットコントローラーについては、今後、毎年何台ずつか整備していく計画。

## 17 白石町

### (1) 現状

- ①電子黒板の整備状況
  - ・電子黒板を各学校に3台ずつ整備
- ②独自システムの整備・活用状況
  - ・指導用デジタル教科書(小国)を全8校に整備。
  - ・校務支援システムについてはSA@SCHOOLを一括導入
  - ・50インチ大型TVをすべての普通教室と学校ごとに3台ずつ整備
  - ・校務用PCは完全整備
- ③ICT支援員の配置状況
  - ・町内5人配置+県教委より1名配置
- ④独自取組
  - ・町ICT活用推進事業の実施
  - ・全校、年1回の公開授業研の開催、他校教職員の参観(2年内に必須)
  - ・講師招聘による模範授業及び講演会の開催
- ⑤その他
  - ・特になし

### (2) 将来展望

- ①電子黒板の整備計画
  - ・電子黒板11台増設(各校1台)予定。
- ②独自システムの整備・活用計画
  - ・指導用デジタル教科書(中国・中英)全3校に整備予定
- ③ICT支援員の配置計画
  - ・町内11校に5名配置予定
- ④独自取組
  - ・町ICT活用推進事業の実施予定
  - ・全校、年1回の公開授業研の開催予定
  - ・講師招聘による模範授業及び講演会の開催予定

上記項目について、町教委事務局としては推進したいと考えている。

## 18 江北町

### (1) 現状

#### ①電子黒板の整備状況

- ・小学校に設置済み(江北小学校2台)

#### ②独自システムの整備・活用状況

- ・SA@SCHOOLを小中学校に整備。各学校に応じて活用されている。主に行事連絡等で使用し、会議の簡略化を図っている。

#### ③ICT支援員の配置状況

- ・緊急雇用を使って、江北小・江北中兼任で1名配置

#### ④独自取組

- ・教育センター主催のICT利活用研究委員会の授業実践に、町教育委員会と総務課(財政担当)が参観(11月8日)
- ・業者に依頼し、ICT機器の紹介デモンストレーションを開催。小中の教職員、町教育委員会などが参加

### (2) 将来展望

#### ①電子黒板の整備計画

- ・期限は提言できないが、目標として、まず小中学校の各フロアに1台を配置し、最終的には全クラスに配置したい。

#### ②独自システムの整備・活用計画

- ・現在においては予定なし。

#### ③ICT支援員の配置計画

- ・江北小・江北中の兼任で1名は配置したい。可能ならば、各学校に1名ずつ配置したい。

#### ④独自取組

- ・ICTの利活用研修会を長期休業中などに開きたい。
- ・ICT支援員と毎月連絡会を設け、情報交換等を活発にしたい。

#### ⑤その他

- ・今後できれば、ICT機器設置推進協議会のような会を町内で設置したい。

(1) 現状

- ①電子黒板の整備状況
  - ・小学校に1台、中学校に1台設置
- ②独自システムの整備・活用状況
  - ・図書検索システム導入
- ③ICT支援員の配置状況
  - ・特に支援員は配置していない
- ④独自取組
  - ・特にしていない
  - ・小学校デジタル指導書を23年度購入（理科・社会）

(2) 将来展望

- ①電子黒板の整備計画
  - ・23年度3月補正で小学校5台、中学校2台を整備予定。また、小中一貫校の改築に合わせてクラス1台となるよう整備をしたいと考えている。
- ②独自システムの整備・活用計画
  - ・校務支援ソフトについては、県が構築されているシステムを活用したいと考えている。
- ③独自取組
  - ・中学校にデジタル教科書(国語、数学、社会、理科、音楽、特別支援教育用の数学ソフト等)を予定している。
  - ・小中学校のグループウェアを整備したいと考え検討したが、24年度予算がつかず。
  - ・町教委主催でICT機器利活用研修を24年度実施予定（3回程度）
  - ・23年度3月補正で小学校にデジタル教科書（国語、算数）を予定している。

## 20 太良町

### (1) 現状

#### ①電子黒板の整備状況

- ・中学校2校は全普通教室と特別教室に各1台配置(大浦中は文科省補助、多良中は県教委よりの貸与による)
- ・小学校2校は各7台(学年に1台の配置。但し、大浦小は9学級中7学級に配置済み)

#### ②独自システムの整備・活用状況

- ・学映システム等の校務支援システムを一括導入(Web行事黒板、校務日誌と出席簿、成績処理、通知表、指導要録等を平成23年に完全デジタル化を図っている)

#### ③ICT支援員の配置状況

- ・各学校に1名配置(学映システムに委託、定期的に研修を積むのでスキルアップし、貢献度が頗る大きい。3年間の継続雇用であるので教職員のスキルアップにもつながった)
- ・各中学校区に1名、県のICT支援員が配置された(町の支援員と役割分担し、授業にも積極的に入ってもらったので、ICT熱が一気に高まった)

#### ④独自取組

- ・ICT利活用推進委員会並びに校務デジタル化推進委員会を組織し全町挙げて先進的ICT利活用教育の推進を図るとともに、学校ごとに研修会を随時実施している。
- ・全職員研修会の中に小中教科部会を設置し、ICTを通じた小中連携の授業研究会を実施し成果を上げている。
- ・電子黒板利活用状況調査を、中学校は教科別、小学校は学級別に毎月調査している。このことにより、電子黒板の利活用が著しく進んできた。

#### ⑤その他

- ・11月9日(木)、10日(金)の2日連続で、大浦中、多良中の学校訪問があったが、全24コマの授業で電子黒板等が活用され、生徒の集中ぶりは見事であった。

### (2) 将来展望

#### ①電子黒板の整備計画

- ・全学級配置の中学校の状況から、小学校も全校全学級配置を出来るだけ早く実現したい。

#### ②独自システムの整備、活用計画

- ・導入したシステムの本格稼働により、校務の効率化が実感できる程にし、児童生徒と向き合う時間を実際に確保したい。

#### ③ICT支援員の配置計画

- ・ICT支援員の授業改善への貢献度は頗る高いことが実証出来ている。

④独自取組

- ・電子黒板で授業改善できることが実証出来てきた。平成24年度は、ICTで学力向上ができることを、是非、数字の上で実証したい。且つ、電子黒板と学力向上の相関関係を明らかにし総括したい。
- ・ICTと太良町が標榜する「豊かな人間力」との関係も明らかにできればと考えている。
- ・平成24年11月30日の「人権教育総合推進地域事業研究発表会」において、ICT利活用の効果を大いにアピールするつもりである。

⑤その他

- ・平成24年1月に、多良中学校において、ICT成果発表会を実施した。公開授業、成果発表、研究協議等、平成23年度の成果をアピールした。参加者が、小・中・高等から100名以上となり、教室にあふれた。ICTへの関心の高さが伺えたいへん有意義であった。